

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年10月1日（木）です。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

- ・平成26年度国土交通白書説明会を開催
- ・福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議を開催しました～11月の過積載絶滅運動強化月間に向けて協議～
- ・9月の船員労働安全衛生月間を実施中です
- ・第5回九州 UMI アカデミー講座、8月は4回の講座を実施～子どもたちが海やヨット、船を身近に感じられるように～

### 2 お知らせ

- ・「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催します。
- ・9月20日は「バスの日」です。テーマは「いつでも、どこでも、みんなのバス」～九州各地でも多彩なイベントが開催されます～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

---

## 1 現場レポート

### ◆平成26年度国土交通白書説明会を開催

九州運輸局は九州地方整備局と共催で、9月14日（月）福岡合同庁舎新館にて、平成27年6月30日に閣議において配布、公表された平成26年度国土交通白書の説明会を開催しました。

説明者に国土交通省総合政策局政策課 小高主査を迎え、運輸業界・建設業界・行政関係者等約140人が参加した説明会では、冒頭の九州地方整備局 小平企画部長からの挨拶の後、説明者から、平成26年度国土交通白書のテーマ「将来世代にわたる豊かな暮らしを実現するための国土・地域づくり～対流促進型国土の形成～」について、第1章では人口減少、超高齢社会等我が国を取り巻く状況を人口動向や出生率などの各データを用いて説明し、人口減少が地方のまち・生活に与える影響についての考察の説明がありました。続いて第2章では本格的な人口減少社会における国土・地域づくりと題し、前章での考察を踏まえ、一部で見られる人々の地方回帰の動きとその要因をアンケート調査により分析するとともに、観光や物流分野で起きている地域活性化の取組等（交流人口としてのヒトの流れとモノ・カネ・情報の流れ）や、地域経済循環を通じた地域活性化の取組事例などが紹介されました。またこのような時代の中で必要とされる地域構造として「コンパクト+ネットワーク」の重要性についての考察の説明もあり、国土交通行政に対する一層の理解を求

めました。

平成26年度国土交通白書はこちらからご覧下さい。

<http://www.mlit.go.jp/statistics/file000004.html>

説明会の模様は、下記URLからご覧頂けます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_315\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_315_1.pdf)

(交通政策部 消費者行政・情報課)

---

◆福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議を開催しました

～11月の過積載絶滅運動強化月間に向けて協議～

貨物自動車による過積載運行は、制動距離の伸長や衝突事故時の衝突力増大によって重大事故発生危険性が高くなるだけでなく、低速ギアでの高回転走行によって大気汚染や騒音公害、道路の舗装と橋梁の損傷を引き起こすことから、事故防止と輸送秩序の確立に大きな障害となっています。

福岡運輸支局では、過積載運行を防止するため、福岡県及び福岡県警察と連携して昭和59年に「福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議」を立ち上げて以降、毎年11月を「過積載絶滅運動強化月間」と定め過積載防止に向けた様々な取組を実施しています。

本年度も過積載絶滅運動強化月間に向け協議を行うため、9月4日に第39回目となる連絡会議を開催しました。冒頭、会長の福岡運輸支局長より「過積載運行は、関係機関の取締り・指導によって着実に件数は減少しているが、なかなかゼロにならないのが現状である。この強化月間が事業者に対して相当な抑止力となっていることは間違いないと考えており、有意義な会議となるようご協力をお願いします。」との挨拶があり、議事が始まりました。

昨年度の強化月間の実績報告を受けて、今年後の実施要綱が提案され、出席者からは「今回新たに過積載防止の要請文書を発送する荷主団体には事前周知を行い、失礼のないよう対応すべき」、「機関誌に過積載絶滅運動の記事を掲載するにあたって、ポスターの画像を使用したい。」との意見や要望が出されるなど、強化月間に向けての意識の高さが伺える会議となり、「交通事故0（ゼロ）をめざして過積載を絶滅しよう。」のスローガンのもと、「広報啓発活動の強化」「街頭取締り」「荷主団体への協力要請」「機関紙（誌）等を通じての広報」などの取組を実施することが承認されました。

過積載運行の絶滅に向け、福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議では、今後も全力を挙げて取組を進めていきます。

会議の模様と会議構成員は次のURLからご覧下さい。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_315\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_315_2.pdf)

(福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議（事務局：福岡運輸支局))

---

◆9月の船員労働安全衛生月間を実施中です

9月の船員労働安全衛生月間が今年も全国各地で実施中です。船員災害の防止を図るため、九州運輸局でも各地区の海運事業者や関係団体などと連携を取り、今年度の重点事項である、「作業時を中心とした死傷災害防止対策」「海中転落・海難による死亡災害防止対策」「漁船における死傷災害防止対策」「年齢構成を踏まえた死傷災害及び疾病防止対策」「生活習慣病等の疾病防止対策」「その他の安全衛生対策」

に向け、訪船や講習会の実施、船員無料健康相談所を開設するなど積極的に取り組んでいます。

～「さんふらわあ はかた」にて訪船指導を実施～

9月3日(木)、箱崎埠頭に停泊中のトレーラーシャーシ160台、乗用車251台を積載できる圧巻の大きさを誇るRORO貨物船「さんふらわあ はかた」(船舶所有者：春山海運(株)、オペレーター：(株)商船三井)に、訪船指導員と福岡市中央区保健福祉センター職員と合同で訪船指導を実施しました。

九州運輸局職員及び訪船指導員による今年度の重点事項の点検、保健福祉センター職員による食品衛生、飲料水等についての指導等を行いました。船内には事故事例の研究、ハザードマップ等が写真、図解で掲示されており、高い安全意識と災害防止への取組が充分に感じられました。

訪船指導の様子は次のURLからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_315\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_315_3.pdf)

～第47回九州船員労働災害防止大会の開催～

9月8日(火)にはホテルセントラータ博多にて、『ケガなく 事故なく 病がなく 無事に帰るぞ僕らの港』をスローガンに掲げ、第47回九州船員災害防止大会が開催されました。

大会に先立ち、殉職されました海事関係者のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、大会主催者の船員災害防止協会九州支部の竹永支部長より「船員の高齢化が進む中、生活習慣病等による疾病防止対策が重要である。」との挨拶がありました。

久保田九州運輸局次長、全日本海員組合九州関門地方支部の漢那支部長の船員災害防止に向けた来賓祝辞の後、船員災害防止功績者の表彰、船員労働災害防止優良事業者認定証、船員安全推進賞の伝達も行われました。

続いて、保護具メーカー各社より、安全带・安全靴・呼吸器、マスク等の使用方法及び性能について実演方式でのプレゼンテーションがあり、当局職員も飛び入り参加し、会場を盛り上げました。

その後、福岡市博多区保健福祉センター健康課 管理栄養士 大場様より、「生活習慣病予防と食事」と題した記念講演が行われました。日常の健康管理について、大変わかりやすく講演いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

最後に、船員災害防止協会九州支部福岡地区支部の末松監事より、船員災害防止に向けた力強い大会宣言が読み上げられ大会は終了しました。

関係各位におかれましては、船員災害の防止に向けて、より一層気持ちを引き締めたいと思います。

九州船員労働災害防止大会の様子はこちらのURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_315\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_315_6.pdf)

(海上安全環境部 船員労働環境課)

---

◆第5回九州 UMI アカデミー講座、8月は4回の講座を実施

～子どもたちが海やヨット、船を身近に感じられるように～

8月に実施した九州 UMI アカデミーの講座の様子を以下のとおり報告します。

○平成27年8月1日(土)

UMI アカデミー8月のスタートです。この夏一番の酷暑の中、「シーサイドももち海浜公園」に52名が集合し、「ビーチサッカー」「ライフセービング」「フライングディスク」を実施しました。この日はアカデミー期間中、唯一座学のない体験だけの日で、参加者全員に熱中症対策を呼びかけての実施となりましたが、子どもたち

のパワーは暑さも吹き飛ばし、日焼けした顔に大粒の汗と白い歯がキラキラ光る一日となりました。

○平成27年8月8日（土）

西福岡マリナーマリノアに55名が集合し、日本海洋レジャー安全・振興協会の協力のもと、「キッズ船長体験」、「ロープワーク」「マリナー見学会」を実施しました。ヨットのオーナーさんのご協力により、クルーザーヨット5隻で博多湾をゆっくりクルージングする「クルーザーヨット体験」を行い、ヨットの快適性を満喫しながら、海から見る博多という新しい視点に、海の魅力を存分に味わいました。「マリナー見学会」では、ボートの上下架作業を初めて見た参加者から、驚きと感嘆の声があがり、「良い見学ができました」と嬉しい声をいただきました。

○平成27年8月14日（金）

平日の開催となりましたが、福岡市ヨットハーバーに34名が参加し、菅原講師による「風の発生の原理・ヨットの帆走原理」の講義を受けた後、陸上シミュレーションでセールの動きと舵の扱い方を体験し、午後からはインストラクターと同乗して操船の仕方を学び、次に子どもたち（2人1組）だけでヨットの操船を体験しました。初めての体験にワクワクドキドキしながらも、自分たちで出来るんだ！という達成感と満足感に包まれた表情に、子どもたちの成長を垣間見た日となりました。

○平成27年8月29日（土）

早朝にも関わらず博多国際ターミナルに59名が集まり、フェリー「ニューかめりあ」の見学を行いました。カメラライン株式会社の平野部長から船の概要と注意事項の説明を受けた後、普段立ち入る事のできない操舵室に入り、航海士の方から船の旋回等操縦方法を教えて頂き、初めての体験に参加者一同目を輝かせ、興味が尽きない様子でした。その後、博多国際ターミナルに移動し、福岡市環境調整課職員の坂本さんによる「生物多様性ってなに」、福岡海上保安部管理課 壹岐（いき）地域渉外官から「海と安全」の講義を受け、本日の講座を終了しました。

講座の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_315\\_5.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_315_5.pdf)

（海事振興部 船舶産業課）

---

## 2 お知らせ

◆「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催します。

九州運輸局では、九州地方整備局と連携し、より幅広い層の関係者の理解を深めるとともに、地方公共団体を中心に、住民・事業者等の地域の多様な関係者が当該地域にとって最適な公共交通について検討し、取り組むことを期して「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催することとしました。

また、シンポジウムの開催に併せて、地方公共団体や交通事業者等の実務者向けに地域公共交通セミナーを開催致します。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州

～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～

日 時：平成27年10月27日（火）13時00分～17時30分

場 所 : 中小企業振興センタービル 2階大ホール (福岡市博多区吉塚)  
定 員 : 300名 (申込先着順、参加無料)

地域公共交通活性化セミナー2015 in 福岡

日 時 : 平成27年10月28日 (水) 9:30~12:20

場 所 : 中小企業振興センタービル 2階大ホール (同上)

定 員 : 300名 (申込先着順、参加無料)

募集等につきましては以下の URL にてご確認ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0915-kotsukikaku.pdf>

---

◆9月20日は「バスの日」です。テーマは「いつでも、どこでも、みんなのバス」  
~九州各地でも多彩なイベントが開催されます~

今から112年前の明治36年(1903年)9月20日に、日本で初めてバスが京都を走りました。これを記念して昭和62年に全国バス事業者大会で9月20日をバスの日と定められ、毎年この記念日にあわせて、「いつでも、どこでも、みんなのバス」をテーマに全国各地で様々なイベントが開催され、多くの人で賑わっています。

今年も九州各地で多彩なイベントが盛りだくさんです。

日本バス協会のホームページ「平成27年度バスの日イベントスケジュール一覧」から各地のイベント情報を見ることができます。お近くのイベントにどうぞ参加してみてください。

<http://www.bus.or.jp/event/joho.html>

---

----- 3 九州運輸局ホームページアップ情報 -----

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部 (九州運輸局総務部内)

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---